

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

006	4008	事務事業名	在宅ねたきり老人等介護手当支給事業	細事務事業名		公的関与	5						
PLAN	課名	社会福祉課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援				
	事業の対象	東温市在住の、在宅で6ヶ月以上ねたきり又は重度の認知症高齢者を介護している方です。			根拠法令	東温市在宅ねたきり老人等介護手当支給条例							
	事業の目的	最終的	在宅の介護支援策として、寝たきり及び認知症の高齢者を月の1/2在宅介護している場合に、介護手当を支給します。		今年度								
	活動内容	申請書を受け付けます。											
		申請書類の内容を審査します。											
		支給決定になれば、4月・8月・12月が支給月になり、前月分までを振り込みます。(支払前に調査があります。)											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標			
		事業の性質上、指標設定になじまない。		認定者数(参考として認定者数を記載しています。)		人	目標						
					実績	94	72						
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費					
	直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考							
		国・県支出金	283 千円	204 千円	451 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	2,972 千円	2,621 千円	3,029 千円								
	計(A)	3,255 千円	2,825 千円	3,480 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,859 千円	0.250 人	1,889 千円	0.250 人	1,885 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,114 千円		4,714 千円		5,365 千円						
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	在宅介護人に対する支援事業が他になく、現在社会問題となっている「介護疲れ」等を回避し、市内の高齢者に対する福祉の充実を図るために必要です。												
有効性	市が行う事業の中で、類似・重複した事業は存在せず、介護人に対する支援として有効です。また、年3回の調査により、より厳密に手当の支給を行うことができます。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、現在認定を受けている対象者に対しては適切に支給事務が行えています。また、県からの補助金を受け、事業目標の達成を図っています。												
効率性	要介護者に係る介護認定情報等を参考に支給決定の認定を進めています。経費は県からの補助金を受け、事業の効率を図っています。												
当面の課題	市民に対する本事業のさらなる周知を、広報等を利用して徹底していきます。また、県の本事業に係る基準値を参考に、申請者に対しては、厳密な審査の上、認定事務を進めていくことが課題です。												
改革計画	不定期ではありますが、広報等を利用して、本事業の周知徹底を図るよう検討します。また、民生委員及び社会福祉協議会等を通じ、市民に対してサービスの周知を行います。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	高齢者を抱える介護者に対する福祉事業として必要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

006	4009	事務事業名	はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業	細事務事業名		公的関与	5						
課名	社会福祉課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp						
事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援					
事業の対象	東温市在住の65歳以上の高齢者です。			根拠法令	東温市はり、きゅう及びマッサージ施術費助成条例								
事業の目的	最終的	介護予防の観点から、健康年齢域の伸長を企図して、はり、きゅう及びマッサージ施術費を助成します。		今年度									
活動内容	助成金を受けようとする方は、施術機関で施術をしたことの証明を受けた後、請求を行います。												
	内容を審査し確認した上で、助成金を支給します。												
成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標					
	事業の性質上、指標設定になじまない。	年間延べ数 (参考として認定者数を記載しています。)		件	目標								
				実績	1,266	1,349							
					目標								
					実績								
				目標									
				実績									
予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	233 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	1,266 千円	1,116 千円	1,560 千円									
計(A)	1,266 千円	1,349 千円	1,560 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.250 人	1,859 千円	0.250 人	1,889 千円	0.250 人	1,885 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,125 千円	3,238 千円	3,445 千円									
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内65歳以上の全ての高齢者が対象のため、介護予防の観点からも、高齢者福祉の推進に必要です。												
有効性	市において、類似・重複した事務事業はなく、本事業を継続して利用されている方も多いため、市内の高齢者福祉の推進に対して有効です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、市民の継続したサービス利用が行われており、事業目標は達成できているといえます。												
効率性	月平均利用件数は約100件ほどあります。また、平成21年度は後期高齢者広域連合会からの補助金を受け、効率的な事務運営を執行しています。												
当面の課題	市内の65歳以上の高齢者に対して、本事業を利用されている方の割合が低いため、本事業の周知徹底を図ります。												
改革計画	定期的に広報に掲載し、窓口にも『利用のご案内』を設置することで、市民へのサービスの周知徹底を図ります。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	高齢者の介護予防事業として必要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

006	4013	事務事業名	長寿祝金事業	細事務事業名		公的関与	5						
課名	社会福祉課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp						
事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	17年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策 (3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援						
事業の対象	毎年4月1日現在において、市内に一年以上在住の77歳、88歳、99歳の誕生日を迎える方です。			根拠法令	東温市長寿祝金支給事業支給規則								
事業の目的	最終的	喜寿77歳、米寿88歳、白寿99歳の節目に、各2万円、3万円、5万円を支給します。(平成22年度より77歳に対しては1万円を支給)		今年度									
活動内容	対象になる方に支給申請書を送付します。												
	申請書提出後、祝金を指定口座に振り込みます。												
成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標					
	事業の性質上、指標設定になじまない。	該当者数 (参考として認定者数を記載しています。)		人	目標								
				実績	489	530							
				目標									
				実績									
			目標										
			実績										
予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円									
	その他特定財源	0千円	0千円	0千円									
	一般財源	11,729千円	12,551千円	9,090千円									
計(A)	11,729千円	12,551千円	9,090千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.100人 743千円	0.100人 755千円	0.100人 754千円									
	臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円									
全体事業費(A+B)		12,472千円	13,306千円	9,844千円									
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	老人福祉の推進を図り、高齢者の生きがい・健康づくりを促進していくために必要です。また、市全体として敬老の意識を継続していくために必要です。												
有効性	高齢者の長寿を祝い、多年の社会貢献に敬意を表するために有効です。また、該当者に対して類似する事業がなく、有効です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、該当者には全員支給できており、事業目標は達成しています。												
効率性	市の単独事業ではありますが、実施手段は適切であり、効率的に事業を推進しています。												
当面の課題	他市の支給状況を参考に、本市における該当者及び支給金額の検討を進めていきます。												
改革計画	年間を通じ、本事業の支給対象者及び金額の検討を進めます。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	長寿を祝うとともに、生きがいのある社会環境づくりを図るため必要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

006	4019	事務事業名	緊急通報体制整備事業	細事務事業名		公的関与	5						
課名	社会福祉課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp						
事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	16年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策	(3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援					
事業の対象	おおむね75歳以上の独居高齢者または高齢者のみの世帯です。			根拠法令	東温市緊急通報装置設置要綱								
事業の目的	最終的	緊急時の連絡体制を確保することで、高齢者福祉の推進を図ります。		今年度									
活動内容	サービス利用の申請書を提出します。その際、協力員2名の署名が必要です。			課税状況に応じて、個人負担金を徴収します。									
	調査員が利用者の基本状況の調査へ伺います。												
	決定後、委託業者が機器の設置を行います。												
成果指標	指標名	計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標					
	事業の性質上、指標設定になじまない。	設置台数 (参考として認定者数を記載しています。)		台	目標								
					実績	119	122						
						目標							
						実績							
					目標								
					実績								
予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0千円	0千円	0千円									
	地方債	0千円	0千円	0千円									
	その他特定財源	35千円	1,466千円	936千円									
	一般財源	4,016千円	2,634千円	3,554千円									
計(A)	4,051千円	4,100千円	4,490千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	0.125人 929千円	0.125人 944千円	0.125人 942千円									
	臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円									
全体事業費(A+B)		4,980千円	5,044千円	5,432千円									
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	サービスの質の向上の観点より、市内高齢者の見守りをより決め細やかなものとするため、サービス内容の更新を検討していく必要があります。												
有効性	高齢者の緊急時の連絡や迅速な対応、安否確認を進めていくため有効な事業です。年数回の緊急連絡があり、協力員等を通じ、迅速に対応しています。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、高齢者の夜間等の不安感や、独居老人の安否確認等を実施可能であり、事業目標は達成できているといえます。												
効率性	より質の高いサービスを提供していく必要があります。効果、コスト等を検討したうえで、サービス内容の改善を考察していく必要があります。												
当面の課題	平成23年度のサービス内容の更新を目標に、経費及び内容のバランスを考え、委託業者選定を実施していく必要があります。また、市民に対して本事業の周知徹底を進めていきます。												
改革計画	質の高いサービスの導入のため、システム更新を検討していきます。また、民生委員及び社会福祉協議会を通じ、市民に対してサービスの周知徹底を行います。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	独居高齢者の緊急時の通報手段を確保し、安心して暮らせる環境づくりのために必要です。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

006	4020	事務事業名	在宅介護支援センター運営事業	細事務事業名		公的関与	9						
課名	社会福祉課	係名	高齢福祉係	電話番号	089-964-4406	メールアドレス	syakaifukushi@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ソフト事業		事業運営方法	全部委託	実施計画	該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	3 高齢者施策の充実		主要施策 (3) 高齢者の社会参加や自立・健康増進等の支援						
事業の対象	市内の在宅介護支援センターである、ウェルケア重信及びガリラヤ荘です。			根拠法令	東温市地域包括支援センター活動支援事業要綱								
事業の目的	最終的	市内の高齢者福祉の増進を図ります。		今年度									
活動内容	委託契約を締結します。												
	事業費を、年2回支払います。												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
			事業の性質上、指標設定になじまない。		目標								
					実績								
					目標								
					実績								
					目標								
				実績									
予算費目	会計	一般会計		費目名	民生		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	5,376 千円	5,376 千円	5,376 千円									
	計(A)	5,376 千円	5,376 千円	5,376 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.050 人	372 千円	0.050 人	378 千円	0.050 人	377 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		5,748 千円	5,754 千円	5,753 千円									
一次評価者	高齢福祉係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市内高齢者の相談窓口として活動を委託しており、高齢者実態把握調査を行ううえで必要です。また高齢者に対してサービスの周知、申請書提出代行を行い、福祉サービスの推進のために必要です。												
有効性	情報の収集が困難な高齢者に対し、ブランチは有効です。高齢者福祉の充実を促進していくために、活動内容は適切です。												
達成度	目標値の設定は困難ですが、サービスの周知徹底を行い、市内高齢者福祉の推進を図ります。												
効率性	サービスの申請時には利用者の基本情報の提供を委託しており、円滑な事業運営が進められています。また、専門のノウハウを所有しているため、効率的な事業運営を進めることができます。												
当面の課題	事業者との連絡を密に行い、市民に対する福祉サービスの周知徹底及び充実が求められます。												
改革計画	年間を通じて、事業対象との連絡を密にとり、市内高齢者福祉の充実を図ります。												
二次評価者	社会福祉課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	高齢者の実態把握業務を委託し、高齢者施策の充実を図るため必要です。												